

まいりゅう リポート

龍ヶ崎市議会だより

vol.216

2026年2月

— 特集 —

- 市民と議会の意見交換会 … 2
- 高校生・流通経済大学生
との意見交換会 … 4

令和7年度 市民と議会の意見交換会

令和7年10月18日、19日、龍ヶ崎コミュニティセンターと長山コミュニティセンターにおいて、「令和7年度市民と議会の意見交換会」を開催しました。

当日は、議会側から「子育て支援と人口減少問題」について報告を行い、その後の意見交換では参加者の皆様から多くの貴重なご意見をいただきました。

頂戴したご意見は今後の議会活動に生かすとともに、今後も市民の皆様の声を直接伺える場づくりに努めてまいります。



龍ヶ崎コミュニティセンター

育休中は「働いていない」という扱いになり、上の子が保育園を退園しなければならなくなったため、職場復帰をした。制度を改善してほしい。

仕事場がなくて龍ヶ崎を出て行ってしまいう人も思うので、市内に働ける場所を作ってほしい。また、つくばの里工業団地の立派な企業に市外に行かれないようにしてほしい。

お金がないと子育てはできない。龍ヶ崎市は支援が少なく、助けという姿勢は市にないと思うくらい。また、子育てをテーマにするのであれば、子育て世代が多く集えるような場所で開催しないと意味がないのではないかな。

給食費無償化の話が出ているが、内容も充実してほしい。量も足りているのか心配。

外国人が増えているが、ゴミの出し方などの問題に自治会が対応している。具体的な対策を検討してほしい。

ゴミ拾いをしているが、草刈りをした後、ゴミだけが残っているので、刈り草とゴミをセットで回収してほしい。

少子化、人口減少は、お金がないことが一番の問題。次世代を担う子どもたちにお金を使ってほしい。

児童館はない、さんさん館は3歳で打ち切られてしまう。どこでどうやって過ごせばいいのかという子育て家庭が多い中で、スピーディーさをもって政策を進めてほしい。



長山コミュニティセンター

行政は無駄な支出を減らし、子どもや子育て世代への支援をもっと充実させるべき。地域のつながりが薄れた今こそ、子育てを社会全体で支える仕組みが必要。

人口減少を嘆くよりも子育てができるまちづくりを考えることが大切。重要なのは、地域が安全で子育てしやすい環境であること。人口減少を前提にした持続可能なまちづくりを目指すべき。

学校開放は子どもの居場所づくりや保護者の安心につながる。一部の学校では下校後に校庭を開放して子どもが遊べる取組があるが、できる学校とできない学校があるのはおかしい。

子育て支援で最も大切なのはお金ではなく、人のつながりと地域・学校の関わり。先生や地域が子どもや家庭にもっと寄り添うことが必要。



龍ケ崎は住宅価格が手ごろである点を魅力として発信できる。

民生委員が把握する結婚希望者をマリッジサポーターに紹介できる制度を議会で取り上げてほしい。

都心近くで自然豊かな子育て環境など、市の良さを広める「ブランド戦略」が必要。

保育ルームと放課後デイサービスの併用利用を、より柔軟に利用できるようにしてほしい。

働く女性が子育てしやすい環境には、行政部局間の連携と学校の地域活用が重要。学校の空き教室を地域の子育て拠点として活用するなど、地域全体で子育てを支える体制を進めてほしい。



◀開催結果の詳細は、こちらからご覧ください

表紙写真によせて



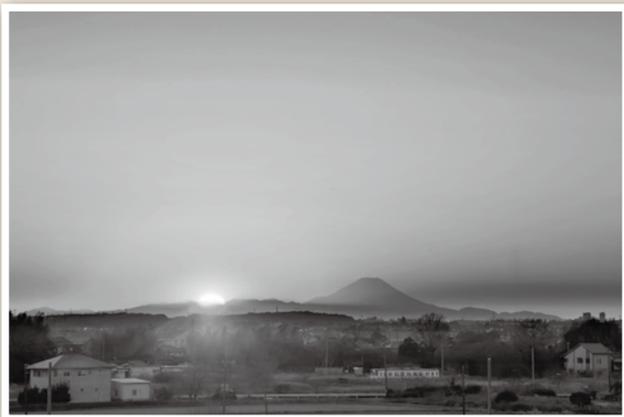
今号の表紙は、表紙写真の募集にご応募いただいた作品の中から選ばれた一枚です。

市内の身近な風景を切り取ったこの写真は、日常の中にある龍ケ崎の魅力を感じさせてくれます。

ご応募、ありがとうございました。

◎撮影者(吉澤さん)からのコメント

平台からの夕景は富士山と竜ヶ崎線と一緒に撮れるお気に入りの場所です。日の入りと一緒に撮るために時刻表と日の入り時刻を調べ、富士山が見えるタイミングを狙いました。



高校生・流通経済大学生 との意見交換会

龍ヶ崎市議会では初の試みとなる取組として、議員が市内高校や流通経済大学を訪問し、生徒や学生と意見交換会を行いました。

日頃感じている地域の課題や、若い世代ならではの新鮮な発想を数多く聴くことができ、地域のことを“自分ごと”として真剣に考える姿勢に、まちの未来への大きな希望を感じました。

それぞれの学校に訪問した様子をご紹介します。



龍ヶ崎第一高等学校・附属中学校

龍ヶ崎一高・附属中では、毎週木曜日の午後を「探究活動」の時間としており、8つに分類されたテーマごとに中高生混合の少人数グループを作り、様々な調査・研究を行っています。

今回の意見交換会では、この探究活動を行っている各教室に議員が訪れ、各グループを回りながら、普段の活動内容や龍ヶ崎市の魅力を向上させるためのアイデアなどを、生徒からざっくばらんに聞かせていただく形式で実施しました。



インターネット等による情報収集、校外での実地調査、AI技術の活用、商品開発・イベントでの販売など、生徒たちが多様な活動を行っていることに感銘を受けました。

本年3月には探究活動の成果報告として発表会が行われる予定であるため、ぜひ拝見したいと考えています。

竜ヶ崎第二高等学校

竜ヶ崎二高では、2年生約160名を対象に、令和7年10月31日に事前説明として、市議会の活動紹介や議会クイズ、市政の現状と課題の説明を行いました。その後、令和7年11月8日に「龍ヶ崎が住みたい・住んでみたいと思えるまちになるには」をテーマにグループディスカッションを行いました。

グループディスカッションでは、生徒が4～5名ごとのグループに分かれ、自分の意見を書いた付箋を「子育て支援の充実」「地域資源の利活用」「公共交通の維持」「中心市街地の活性化」の4つの項目ごとに分けて、模造紙に貼りながら、意見を交換しました。生徒たちからは、「グループで龍ヶ崎の良いところを探すのが楽しかった」、「気が付かなかった龍ヶ崎の良いところを知ることができた」などの声をいただきました。

当日生徒から出された意見をご紹介します。

子育て支援の充実

- 子どもが遊べる公園を増やす
- 子どもを預ける施設を増やす
- 放課後に遊ぶ場所が少ない
- RINKがもう1つほしい
- 義務教育後の支援も考えてほしい
- 小中学校が多いから有効に活用してほしい。廃校の体育館などを貸し出してほしい



地域資源の利活用

- コロケ以外でも龍ヶ崎の有名な食べ物をつくる
- ジャムなどでトマトを有名にする
- たつのごやまの遊具をもっと増やす
- 木を使ったワークショップを開催する
- 龍ヶ崎市の和紙を使った折り紙や障子、書道の半紙などを活用してほしい



公共交通の維持

- コミュニティバスの朝の便がなくなり登校が不便になった
- 最終のバスをもう少し遅くまで出してほしい
- 市外に行くバス路線を増やしてほしい
- 龍ヶ崎市駅と竜ヶ崎駅の名前がわかりにくい
- AIオンデマンドバス「龍ヶ崎のるーと」が良い



中心市街地の活性化

- お店を増やしてほしい
(中心市街地にあってほしいお店について、たくさんのご意見がありました)
- イベント(お祭りなど)をもう少し増やす
- 「龍」のつく地名が珍しいから、もっと「龍」を売り出す
- 地域みんなで盛り上げている

流通経済大学

流通経済大学では、令和7年12月22日、議員から「龍ヶ崎市のスポーツ政策」と市議会の活動内容について説明し、その後、リアルタイムアンケートツール「Slido（※）」を使って、学生（約90名）とスポーツ政策に関する意見交換やスポーツに関する意識調査などを行いました。

流通経済大学と議会の連携事業は、今回が初めての取り組みでありましたが、学生が地域課題を“自分ごと”として捉え、地域との関わりや貢献の可能性を前向きに考えている様子がうかがえました。

また、「大学のあるまち」という本市の特性を生かすためには、継続的な対話の仕組みへ発展させていくことも検討していく必要があると感じました。

当日学生から出された意見をご紹介します。

※「Slido（スライド）」とは、質問に対して参加者がスマホやパソコンからその場で投票・回答でき、集計結果を即時に参加者に共有できる仕組みであり、学生の皆さんにとって、発言のハードルを下げながら参加感を高められる点がメリットです。



龍ヶ崎市のスポーツ政策に関する意見

- 龍ヶ崎にもプロスポーツチームを作る
- 大学生が出張コーチで小中学校でスクールを行う
- お祭り屋台のような感じで手軽にスポーツを体験できるイベントを開催する
- 地域の運動会を定期的で開催する
- 信号のない1周3～5kmの周回ランニングコースができたらうれしい
- スポーツと地域貢献を組み合わせたイベントを開催する
- 痩せたり、健康診断の結果が良くなったら何かプレゼントがもらえるような施策を行う
- 大学では栄養学なども扱っているため、高齢者や子どもたちの健康の維持増進のため、食生活の改善講座やフードモデル授業などを行う
- 駅からたつこのフィールドなどのスポーツ施設まで距離があるので、試合日などに、スポーツ施設行きのノンストップバスを運行する
- スポーツジムなどは多くて多くの人が行けないと思うので、無料のイベントを増やしたり、安く利用できるようにする
- 龍ヶ崎を使ったスポーツアニメをつくる
- マイナースポーツを発展させる

SNSを活用した情報発信について

龍ヶ崎市議会では、「市民に開かれた議会」を推進することを目的として、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram などを活用し、議会活動に関する情報を積極的に発信しています。



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑や討論の一部について掲載しています。議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。

▼第4回定例会（11月）

◆議案第1号

龍ヶ崎市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について

「子ども・子育て支援法」の規定に基づき、いわゆる「こども誰でも通園制度」に関し、その運営に関する基準を定めるものです。

◎質疑

伊藤議員 本市での対象者数と実施事業者数について伺います。

福祉部長 対象者は保育所等に在籍していないゼロ歳6か月から満3歳未満までのお子さんの利用を想定しており、来年4月時点で347名を見込んでいます。実施事業者は民間8施設と公立1施設の計9施設となる見込みです。

◆議案第2号

龍ヶ崎市犯罪被害者等支援条例について

「犯罪被害者等基本法」の規定に基づき、犯罪被害者等の支援に関し、基本理念などを定めることにより、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減に向けた取組を推進し、犯罪被害者等を支える地域社会の形

成に寄与するため、本条例を定めるものです。

◆議案第3号

龍ヶ崎市出張所設置条例の一部を改正する条例について

デジタル化の進展や証明書等のコンビニ交付などサービス体制の充実を受け、公共施設の縮小の視点から、総量の最適化とさらなる体制強化による市民の利便性の向上やサービスの維持につながるため、今年度をもって西部出張所を市民窓口ステーションと統合することに伴い、改正を行うものです。



▲西部出張所は令和8年3月で閉所し市民窓口ステーションと統合します

◆議案第6号

龍ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について

いわゆる「こども誰でも通園制度」を実施することに伴い、その利用料に関する規定を追加

するなど、所要の改正を行うものです。

◎質疑

伊藤議員 利用料と利用者負担の減免について伺います。

福祉部長 国が示す1人1時間300円程度という標準的な金額を念頭に、どの施設を利用しても同じ金額となるよう検討を進めています。また、所得状況等に応じた利用料の設定をする予定です。

◆議案第7号

龍ヶ崎市火入れに関する条例の一部を改正する条例について

本条例中に規定されている「異常乾燥注意報」を「乾燥注意報」に改めるとともに、申請に関する様式を規則において定めることとするほか、所要の改正をするものです。

◆議案第8号

令和7年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第8号）

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億5195万円を追加し、総額を326億7364万2千円とするものです。

＜主な歳出＞

・新長戸コミュニティセンターの施設の電話回線、LAN構築委託費

・さんさん館の外壁・屋根改修工事の見送り（減額）

・選定療養費を助成する補助金
・道路排水ポンプ更新工事
・市道第1-380号線整備事業の用地取得
・小中学校における光熱水費

◎質疑

岡部議員 さんさん館の改修工事を本年度は行わず、令和8年度に改めて実施する理由について伺います。

また、学童保育ルーム運営業務委託の選定方法について伺います。

福祉部長 さんさん館の屋根の不具合、雨漏りを改善する改修工事の実施設計において、雨漏りを改善するためには、屋根の防水改修に加え、外壁の改修も併せて行う必要があることが判明し、費用や工期など再検討することによるものです。工事費は5千万を超える規模となり、工期は約8か月と見込んでいます。

本市の学童保育ルームの運営は、令和2年度から民間事業者への業務委託に移行しています。令和8～10年度の業務委託の受託者の選定方法は、今議会の議決後に開始し、契約審査会の審議を経て決定します。

常任委員会

第4回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務教育、健康福祉、都市経済）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています。



▼総務教育委員会

◆議案第8号

令和7年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第8号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

油原委員 市営住宅管理費の委託料350万円の増額について、現状で3割以上の空き室があるなど、人の動きが少ない割には高額な補正だと思えますが、その理由を教えてください。
管財課長 今年8月に入居者募集を行ったところ、5件の申し込みがあり、入居者が選んだ空き部屋の状態があまり良くなかったため、修繕費が高額になりました。



▼健康福祉委員会

龍ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

後藤敦志委員 これまでも条

例制定時に手数料が決まっていない場合には規則で定めるといふ、ある意味白紙委任のような形は適当ではないと考えますので、上限額や金額の範囲までは条例で規定すべきと考えますが、どうお考えでしょうか。

福祉部次長 国等からの指示がなく、市で自由に決められるものは、これまでも条例で定められていますが、保育料やこども園でも通園制度の利用料は国から目安が示されていますので、具体的な金額は規則で定めてまいりたい。

◆議案第10号

令和7年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

山宮委員 元気サロン松葉館の利用者が増えていることを受けて、土曜日も開館することですが、それで十分なのでしょうか。

健康増進課長 松葉小学校の跡地活用や消防法などの制約がある中で、現実的な方法として、まずは土曜日を開館して、キャパシティの緩和を図ろうとするものです。

▼都市経済委員会

◆議案第3号

龍ヶ崎市出張所設置条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。



岡部委員 近隣住民への説明はどのように行っているかについて伺います。

市民窓口課長 9月に馴染コミニュニティセンターを会場に住民説明会を2度開催し、西部出張所の市民窓口ステーションへの統合や、コンビニ、市公式ライオンなどを利用した手続きについて説明しました。

◆議案第13号

令和7年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算（第5号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

加藤委員 今後の下水道計画の

方向性について伺います。
下水道課長 下水道に繋がっていない大規模店舗などが何か所が残っていますが、市全体としては新規整備というよりは維持管理の時代に移っていると考えています。

◆報告第4号
専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で承認しました。

加藤委員 日常の道路点検をどのようにされているのか伺います。

道路公園課長 通常の道路管理については、今年度からシルバー人材センターに週1回の道路見回り業務を委託しており、不具合箇所については職員が確認し、必要な対応をしております。

また、市民の方からラインなどでの通報があった場合にも、場所や現場の状況等を確認して対応しています。



議

決

結

果

令和7年第4回定例会

(会期：11月20日～12月5日(16日間))

議案等番号	件名	議決結果
議案	第1号 龍ヶ崎市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	賛成多数で可決
	第2号 龍ヶ崎市犯罪被害者等支援条例について	全員賛成で可決
	第3号 龍ヶ崎市出張所設置条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第4号 龍ヶ崎市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第5号 龍ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第6号 龍ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第7号 龍ヶ崎市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第8号 令和7年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第8号)	全員賛成で可決
	第9号 令和7年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第10号 令和7年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第11号 令和7年度龍ヶ崎市児童発達支援事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第12号 令和7年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第13号 令和7年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算(第5号)	全員賛成で可決
	第14号 龍ヶ崎市公平委員会委員の選任について	全員賛成で可決
	第15号 龍ヶ崎市公平委員会委員の選任について	全員賛成で可決
	第16号 令和7年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第9号)	全員賛成で可決
報告	第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和7年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第7号))	全員賛成で承認
	第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和7年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算(第4号))	全員賛成で承認
	第3号 専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて)	全員賛成で承認
	第4号 専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて)	全員賛成で承認
	第5号 専決処分の報告について(和解に関することについて)	—
令和7年陳情第1号	龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例(平成14年条例第4号)の運用に関する陳情書	賛成少数で不採択

※報告第5号は、地方自治法第180条による専決処分であるため議決不要です

※陳情の内容は、市議会ホームページに掲載しています

※賛否が分かれた議案等()部分)に対する議員の態度については、次ページに掲載しています

議案等に対する議員の賛否



※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています

※議長（後藤（敦）議員）は採決に加わりません

※金剛寺議員は体調不良により欠席しています

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 △=賛否不明

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																				
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	櫻井	札野	大野(み)	久米原	山宮	石嶋	山村	加藤	岡部	山崎	後藤(光)	椎塚	油原	大竹	後藤(敦)	杉野	寺田	鴻巣	大野(誠)
議 1	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 3	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 4	可決	18	0	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 1	不採択	2	17	欠	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

令和 8 年第 1 回臨時会 (会期：令和 8 年 1 月 22 日 (1 日間))

議案等番号	件 名	議決結果
議案	第 1 号 龍ヶ崎市職員の給与に関する条例及び龍ヶ崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第 2 号 龍ヶ崎市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第 3 号 令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算 (第 1 0 号)	全員賛成で可決
	第 4 号 令和 7 年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	全員賛成で可決
	第 5 号 令和 7 年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	全員賛成で可決
	第 6 号 令和 7 年度龍ヶ崎市児童発達支援事業特別会計補正予算 (第 3 号)	全員賛成で可決
	第 7 号 令和 7 年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 3 号)	全員賛成で可決
	第 8 号 令和 7 年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算 (第 6 号)	全員賛成で可決
	第 9 号 令和 7 年度龍ヶ崎市一般会計補正予算 (第 1 1 号)	全員賛成で可決
報告第 1 号	専決処分承認を求めることについて (和解に関することについて) [除草作業中に刈払機によって小石が飛散し、普通乗用車を破損させた事故]	全員賛成で承認

議案等に対する議員の賛否

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																				
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	櫻井	札野	大野(み)	久米原	山宮	石嶋	山村	加藤	岡部	山崎	後藤(光)	椎塚	油原	大竹	後藤(敦)	杉野	寺田	鴻巣	大野(誠)
議 2	可決	18	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



市内で開業するコンテナホテルについて

札野 章俊 議員



議員 まちづくりや住環境の面から松ヶ丘の住居地域にホテルはふさわしくないと考えます。

都市整備部長 計画地は第1種住居地域に該当し、良好な住環境の保全を基本としつつ、日常生活を支える店舗、事業所、サービス施設等の立地を幅広く許容する区域です。用途地域の観点や周辺の施設立地状況を鑑みても計画

龍ヶ崎市のまちづくりの方向性について

議員 龍ヶ崎市は先進的な東京のベッドタウンとして未来ビジョンを再構築すべきと考えます。

市長 周辺環境の変化も含め、都心のベッドタウンに限定せず、通勤利便性と暮らしやすい、豊かな自然環境との調和の取れた、住みたいまちづくりを進め、子育て・若者世代をはじめとした新たな

ごみ分別アプリの導入について

久米原 孝子 議員



議員 ごみ分別を分かりやすくするためのごみ分別アプリを導入している自治体があります。ごみ減量にもつながるため導入してはいかがでしょうか。

都市整備部長 市民の皆様へ最新の情報をよりタイムリーにお届けするため、検討を進めてまいります。具体的には、処分

公立小中学校での外国人児童生徒への支援策について

議員 今後増えていく外国人児童・生徒への支援を充実するため、日本語指導支援ボランティアの事業化をするべきと考えます。事業化も含め、支援の充実について伺います。

教育部長 コミュニティスクールの一環として、地域の方々に日本語指導支援ボランティアの協力を呼びかけ、支援体制の

掲載以外の質問項目

◆介護支援専門員（ケアマネジャー）について

山宮 留美子 議員



児童虐待防止対策について

議員 児童虐待防止月間の発端は、2004年に栃木県小山市で、幼い兄弟が虐待の末に亡くなった事件を受けて、市民団体が児童虐待防止啓発のため、11月を児童虐待防止月間としたことが始まりです。龍ヶ崎市における児童虐待の現状と市の対応、取り組みについて問います。

福祉部長 必要な実情の把握、情報の提供、虐待の未然防止、早期発見等の初期対応を行い、児童

福祉部長 必要な実情の把握、情報の提供、虐待の未然防止、早期発見等の初期対応を行い、児童

HPVワクチン男性接種の現状について

議員 市長の英断により開始された、男性のHPVワクチンの助成制度ですが、8月25日に9価ワクチンも認証され、最近ではテレビコマーシャルも放映されるようになり

市長 市民である若者の健康を守る上で有効であると考えているので、現行の助成制度については継続の方向で検討しました。この制度は継続が大事です。来年度の予

大野 みどり 議員



湯ったり館の解体と花木公園の整備について

議員 湯ったり館閉館決定までの経緯を伺う。

市民経済部長 施設の老朽化、市内での類似温浴施設開業や新型コロナウイルス感染症の影響、燃油高騰の影響が大きく、市負担額は1億円に上り運営状況が悪化。指定管理期間満了の令和6年3月で湯ったり館を一旦休館。その後民間6事業者をヒアリングしたが、当面10年間で約10億8500万円以上の市の財政負担を要し、提案内容もフィットネス事業、介護事業、サウナやプール事業等あったが、温浴事業の終了を決定。

議員 湯ったり館の解体と花木公園の整備を決めた経緯、解体を含む整備費用とスケジュールを伺う。

市民経済部長 塵芥処理施設建設に伴う地元への還元施設である観点から、協議窓口の板橋地区環境整備委員会との意見交換

議員 湯たり館の解体と花木公園の整備を決めた経緯、解体を含む整備費用とスケジュールを伺う。

大竹 昇 議員



2050年カーボンニュートラル実現に向けて

議員 当市のカーボンニュートラルへの取組に至る経緯は如何に。

都市整備部長 1992年の国連気候変動枠組条約、1997年の京都議定書、2015年のパリ協定の国際的な流れの中で、国は2050年までに温室効果ガスの排出、実質ゼロ。2030年度に温室効果ガス2013年度比で46%削減する目標を掲げ現在進行中です。

議員 当市のカーボンニュートラルの目標設定と実行計画は如何に。

都市整備部長 2030年度温室効果ガスを2013年度比43.3%削減する目標を定めた実行計画。市民・事業者は冷暖房の適正管理や公共交通の利用促進とノーマイカーデーへの協力、LED照明等の省エネ性能の設備機器の利用や太陽光発電等再生エネルギーの活用等、具体的取組を推進。

議員 さて、国民の消費額は平成26年と令和5年比は、電気料金9472円からは1万2222円と12%増。1997年の京都議定書、2015年のパリ協定の温室効果ガス削減のため、太陽光発電設備、蓄電池、電気自動車用の充電設備の普及への新たな補助制度や既存制度の拡充は如何に。

都市整備部長 公共施設の太陽光発電設備等導入、家庭用蓄電池の設置、ZEHの取得、高効率省エネ家電への買換えの補助を実施しています。

議員 2050年カーボンニュートラルの実現に向けての市長の見解は。

市長 未来の地球、次世代との約束で、2030年度に温室効果ガス削減目標を定め本年2月に未来への決意、ゼロカーボンシティ宣言を表明しました。

救急搬送における選定療養費の徴収について

藤木 妙子 議員



議員 救急搬送時における選定療養費についてお尋ねします。

健康スポーツ部長 令和6年12月より、医師の判断で緊急性がない場合、選定療養費を徴収します。が県内では23ヶ所、市内では済生会病院となりません。

議員 県内では水戸市と城里町が、救急搬送時の選定療養費に対し補助金

を出しているの、龍ヶ崎市でも実施したいとのことですが、同時に子育て支援の一環として、ゼロ歳から高校生までは、対象から除外してもらうよう県知事に働きかけてください。



ラインでのコミュニティセンター予約

議員 ラインでのコミュニティセンター予約を始めた経緯をお知らせください。

市民経済部長 市民の利便性向上のため実施しましたが、幅広い年齢層で支持していただきました。

議員 予約は便利になりましたが従来の申込書の写しは不要ではないの

か、また市民より予約とは関係ない市の行事の送信は止められないのか聞かれたのでお尋ねします。

市民経済部長 令和8年度より、使用許可書の書類としての発行は廃止する予定です。施設予約に限定したシステムは、新たな経費が必要のため、現在は考えていません。

まちなか再生をどのように推進するのか

椎塚 俊裕 議員



議員 まちなか商店街に設置する街路灯の維持管理問題について、行政と協議会の開催を希望しますが、ご所見をお伺いします。

市民経済部長 商店街に設置されております街路灯は、設置する方々が自らの責任で管理していただくことが原則と考えています。

議員 今後求められる視点は、対症療法的な補助金による支援だけではなく、持続可能な発展のために組織力強化や地域コミュニティのニーズに応じた多様な機能を複合的に導入することが重要で

す。

市内最大の夏の龍ヶ崎の祭り。当市は撞舞をメインにPRしますが、なぜ龍ヶ崎の祭り全体をPRしないのでしょうか。

市民経済部長 本市最大の夏祭り八坂神社の祇園

祭は、長い歴史の地域に根付いた例大祭で、多くの人々がにぎわう、観光交流人口増加に資する貴重な地域資源の一つです。祇園祭の周知、PRも、観光振興等の側面から市広報紙「りゅうほー」の掲載や公共施設等へのポスターの掲出、市公式SNS上で記事掲載など市として取り組んでいきます。今年度も「りゅうほー」9月号で龍ヶ崎の祭りとして特集ページを組み周知しました。

議員 まちなか再生の一つのインパクトを与える方法として、祭り全体的なPRを効果的にすることが重要です。



「就職氷河期世代」に迫っている介護問題!!

杉野 五郎 議員



議員 特養待機が108人にも上っているとの答弁を踏まえての質問です。現在40〜50代の就職氷河期世代の親は高齢化が進み、2033年には当該現役世代で約200万人が介護を担うとされています。当該世代は非正規社員としての雇用が多く、経済的にも厳しく、一般のビジネスケアラーよりも不利な状況に置かれています。親との同居の有無を問わず、在宅での介護はとも困難だと指摘されています。数ある介護施設の中で、費用面での軽減がある特養での介護ニーズが極めて高いとされています。市長は、この件に関してどう認識されますか。

市長 これは個人やその家族だけの課題ではなく、社会全体で受け止めるべき重要な課題です。就職氷河期世代が介護の負担を一身に担う事態は、家庭生



▲進展がないので怒っています！特養整備は待たないです

掲載以外の質問項目

◆当市の下水道事業を検証する(その2)

◆当市の「財政収支見通し」(令和7年10月現在)推計結果について

安心・安全の下水道事業へウオーター PPPの導入はしないことについて

伊藤 悦子 議員



議員 埼玉県八潮市の道路陥没事故の原因は、下水道事業の安全対策が大きな課題となり、市は、下水道の緊急調査を行い問題はないということです。市が検討している、下水道事業に民間連携のウオーター PPP の導入は、設計・仕様もすべて民間にまかせ、契約は10年を超えらるといいます。下水道事業が民間事業の利益追求となり安全のコストカットにつながりかねません。10年間も特定企業に任せれば、市の管理は難しくなり、行政チェック・監視機能の低下、行政の技能継承

学校体育館のエアコン設置は

議員 猛暑が予想され設置は待ったなしです。いつになりますか。
議員 取手市は国の補助金なしで実施しています。早期の実施を求めます。
教育部長 多額の費用を要し、国の補助金の活用が必要不可欠です。補助採択

牛久沼景観利用の再検討について

櫻井 速人 議員



議員 道の駅計画はリリースより7年を費やして検討が重ねられ地盤の問題、埋蔵残留物の問題を抱え中止に至ったが、そこから望む景観の素晴らしさを生かして再度用途検討が出来ないかと考えます。
議員 道の駅計画はリリースより7年を費やして検討が重ねられ地盤の問題、埋蔵残留物の問題を抱え中止に至ったが、そこから望む景観の素晴らしさを生かして再度用途検討が出来ないかと考えます。

様々なイベントに対応できる汎用性を持たせ、最低限の設備をもって運営できるドッグランなどの整備をし、愛犬家をはじめ市民の皆さんの集い、憩いの場にすることを提案いたしますが、その点を含め今後の旧道の駅建設予定地についての考えをお聞かせください。

総合政策部長 牛久沼の

利活用については現在水上アクティビティ事業者や、一般公募の市民の皆さん、高校生などによる市民会議が開催される様々な提案をいただ



▲旧道の駅建設予定地の再検討を

掲載以外の質問項目
◆格闘技や武道を地域活性に取り入れる提案について

特区制度の活用で地域課題の解決を目指す

山村 尚 議員



議員 特区制度は、特定の地域で国の規制を緩和し、新たな取組を先行的に試す制度です。自治体・公共Week 2025で全国の先進事例を学び、地域課題の解決や産業振興に有効であると認識しました。本市でも活用の可能性を検討すべきと考えますが、ご見解を伺います。
議員 特区制度は、特定の地域で国の規制を緩和し、新たな取組を先行的に試す制度です。自治体・公共Week 2025で全国の先進事例を学び、地域課題の解決や産業振興に有効であると認識しました。本市でも活用の可能性を検討すべきと考えますが、ご見解を伺います。

総合政策部長 農業人材不足や産業振興、外国人材の受入れなど、本市が抱える課題の解決において、特区制度は有効な手段と認識しています。また、広域的な調整が必要な分野では、鹿嶋市やつくば市の事例を参考に、複数自治体で連携する広域型特区についても検討していきたいと考えています。
議員 特区制度は、地域課題の解決や新たな産業創出につながる重要な手段です。国や関係機関との調整、事業者への支援を通じて、市役所全体で連携しながら、本市の地域創生に戦略的に取り入れるよう要望します。

外国人移民について

後藤 光秀 議員



議員 分別をしないゴミが集積所に放置されていることがあると住民自治会の方々からご意見をいただいています。市では、現在どのような対応を行っているのか。

都市整備部長 ご指摘のとおり分別が徹底されていない不適正ゴミの排出事例が発生している状況を把握しており、多言語による周知として、5ヶ国語に翻訳したチラシを作成

総務部長 市民税、県民税、森林環境税の納付率が44・34%、国民健康保険税は66・04%となっております。

学校運動会について

議員 運動会の名称が変わり、種目数や開催時期など内容の変化を感じますが、その理由と今後の考え方を伺います。

教育部長 新型コロナウイルスも感染拡大の影響により、学校行事全般の見直しが全国的に進みました。見直しの過程において、児童の負担軽減を図る

観点から内容を精選して実施するとの考え方が一層浸透したところです。

議員 「早く普通の運動会に戻らないかな」「お弁当作ってあげたかった」といった保護者の声もあります。少子化やいろいろな背景があるかもしれませんが、より良い運動会になるよう取り組んでほしい。

竜ヶ崎線は存続できるのか？

加藤 勉 議員



議員 市民の身近な交通手段である竜ヶ崎線は開業から125周年を迎えています。少子高齢化による人口減少やマイカーの普及、新型コロナウイルス禍の公共交通離れ、加えて竜ヶ崎線に限定した要因では東京電力竜ヶ崎支店と土浦支店の統合による竜ヶ崎支店職員の減少等により輸送人員は減少傾向にあると思われ、その推移と営業収支（経常損益）を伺います。

都市整備部長 輸送人員は、2014年度が83万1千人、2019年度が81万人、2024年度が76万人の状況です。また、2020年度以降の経常損益は、新型コロナウイルスの影響や利用者数の減少、エネルギー価格や人件費の高騰などもあり、平均して5千万円を超える損失が発生しています。

議員 国が発表した鉄道輸送に関する2040年度目標では、2031年度以降に非電化区間に新導入する車両はハイブリット車両や蓄電池車両、水素車両を原則とする旨が公表されています。新たな多額の費用負担が見込まれる中、廃線の是非が話し合われる目安となる竜ヶ崎線の輸送密度はどのような状況ですか。

都市整備部長 法律に基づく基本方針では、輸送需要の減少その他の理由により廃線の是非が話し合われる再構築協議会の組織要件の一つには、輸送密度4千人未満の区間か否かを目安とすることが示されていますが、当面は早急な改善が必要となる輸送密度千人未満の区間を優先することとする旨の考え方が示されています。なお、竜ヶ崎線の2024年度輸送密度は、2046年人となっています。

稲敷地方広域市町村圏事務組合の当市の負担金50年間、過大に負担！

大野 誠一郎 議員



議員 当市の負担金は創立以来、50年間、毎年2千万から1億円、過大に負担している、是正すべきである。現状は基準財政需要額50%、職員配置割50%の負担であるが、職員配置割50%は廃止、基準財政需要額100%1本にするべきだと思えます。11月10日の稲敷広域市町村組合の議会では、これまでの負担割合に、龍ヶ崎市議会選出の議員と利根町の議員1人が反対しました。この事実について、市長はどのように考えますか？

市長 公平、公正な負担割合となるよう、これまでの負担割合の考え方、仕組みにとらわれず、引き続き組合議会等に対し働きかけていきたい。

議員 働きかけていくという話ですが、稲広の幹事会に出席する財政課長、企画課長、防災安全



掲載以外の質問項目

◆ゼロカーボンシティ宣言表明後について

◆スポーツクライミングについて

選任

▼公平委員会委員

新任



やぐち こと子 氏

再任



あかし しゅんいち 氏

議員辞職

令和7年11月27日付で、藤木妙子市議会議員より後藤敦志市議会議長あてに辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、令和7年11月28日の本会議において辞職が許可されました。

議員紹介

令和7年12月21日に執行された龍ヶ崎市議会議員補欠選挙において、石引礼穂氏が当選しました。
任期は令和9年4月30日までです。



いしびき あやほ 議員 石引 礼穂

「公平委員会」は、市役所に勤務する職員の利益の保護と、公平な人事権の行使を保障することを目的に置かれている機関です。
市長や、その他の任命権者から独立した組織となっています。
委員数は3名、任期は4年です。

龍ヶ崎市議会だより（まいりゅうレポート）の「表紙写真」を募集しています

▶募集内容 「龍ヶ崎市議会だより」の表紙写真

- ・応募者本人が龍ヶ崎市において1年以内に撮影したもの ・未発表のもの
- ・デジタルデータで提供できるもの
- ・人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けているもの
- ・個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けているもの



▲募集の詳細についてはこちらからご覧ください

▶応募資格 市内在住・在学・在勤の方

▶応募方法 / 応募先

①応募者（撮影者）の氏名、住所、連絡先、②撮影年月日、③撮影場所、④写真のタイトル・一言コメントをご記入のうえ、メール(gikai@city.ryugasaki.lg.jp)によりご応募ください。

▶応募期間 年間を通じて随時受付します

編集後記

昨年の流行語大賞には、「働いて働いて働いて働いて働いて働いて働いて」という言葉が選ばれました。

龍ヶ崎市議会では昨年、毎年実施している議会報告会に加え、いくつかの新しい取り組みを行いました。

その一つが、主権者教育の一環として、市内4つの高校のうち2校の生徒の皆さんと市議会議員との語らいの場を設けたことです。また、流通経済大学の学生の皆さんとは、スポーツ政策をテーマに意見交換を行いました。高校生や大学生

の皆さんからは、市への率直で新鮮なご意見、政治への疑問、龍ヶ崎市への期待など、多くの示唆に富む声をいただきました。大変参考になりました。

4年の任期である私たち22名の市議会も、残すところ1年余りとなりました。残された時間で市の課題を少しでも前に進めるために、今年の干支にちなみ、駿馬のように力強く、市民のために走り続け、今まで以上に開かれた市議会にしてまいります。

山宮 留美子 記



次の議会

令和8年第1回定例会は
2月27日
開会予定です

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 石嶋 照幸 |
| 副委員長 | 伊藤 悦子 |
| 委員 | 山宮留美子 |
| 委員 | 岡部 賢士 |
| 委員 | 後藤 光秀 |
| 委員 | 油原 信義 |